



イラスト  
井田ヒロト

## 前橋城再興150年記念 名門四家たたえる前橋四公祭

かつて藩主を務めた、酒井・松平・秋元・牧野家の名門四家をたたえ、イベントを開催。功績と歴史の価値をこれからのまちづくりに活用します。

図文化国際課  
☎027・898・6992

### ●前橋四公祭

滋賀県立大教授の中井均さんによる大名墓所についての基調講演や、歴史小説家の東郷隆さんを招いてのトークセッション、スペシャルゲストが登場する創作劇「前橋四公物語」などを行います。

日時 10月21日(土)午後1時～5時  
会場 群馬会館(大手町二丁目)  
対象 1 一般、先着400人  
費用 11,000円

9月11日(月)～10月13日(金)にSAP ☎03・6912・0945へ

●前橋四公バスツアー  
四公の廟所六寺社(龍海院、東照宮、孝顕寺、光厳寺、元景寺、養林寺)を巡ります。費用は、昼食代2,000円程度です。

日時 10月15日(日)午前9時～午後4時  
対象 1 一般、50人(抽選)  
9月29日(金)までに文化国際課へ

●前橋四公週間  
10月14日(土)～20日(金)を第一期、11月4日(土)～10日(金)を第二期の前橋四公週間とし、四公御廟所六寺社を含む11コースの歴史観光ガイドを実施。また、期間中は同六寺社で「前橋四公ご朱印帳」を無料配布します。

時間 1 午前部 午前10時～正午(午後の部) 午後1時30分～3時30分  
第一期は10月6日(金)まで、第二期は10月27日(金)までに文化国際課へ

## 9月は屋外広告物適正化旬間 広告物のルール、再確認を

図都市計画課 ☎027・898・6974

看板などの広告は、まちなみ景観を構成する重要な要素。周辺との調和を考えず、目立つことばかりを優先した大きな看板や派手な看板は、景観を損ねるだけでなく、事業者のイメージ低下にもつながります。

また、老朽化や不整備による看板の落下・倒壊・飛散などの事故が各地で発生。第三者に被害を及ぼす例もあります。事故防止のため、日常点検に加え、定期的に専門業者による点検を実施するなど、安全管理に努めてください。

●違反広告物の是正指導実施中  
本市では広告物のパトロールと是正指導を実施中。また、ブロック塀などに所有者の許可なく貼られた違反広告物の除却をしています。自宅の塀などに広告物が無断で貼られて困っている場合は、都市計画課に相談してください。

看板などの広告は、まちなみ景観を構成する重要な要素。周辺との調和を考えず、目立つことばかりを優先した大きな看板や派手な看板は、景観を損ねるだけでなく、事業者のイメージ低下にもつながります。

### ●広告物にはルールがあります

1 設置や表示には、原則市の許可が必要  
2 設置が制限される場所や地域も  
3 種類ごとに表示できる面積や大きさの基準あり  
4 屋外広告業を営む場合は、市へ登録が必要  
5 電柱や街灯柱、街路樹などへのポスターやチラシの貼り付けは禁止。

ブロック塀などに貼られた広告物



除去前 除去後

中央公民館で市民講座を開催。科学や健康、経済のさまざまな分野について学びます。

図中央公民館  
☎027・210・2199

## 文化の秋に学びの時間を 多才な講師陣がそろって講演会

各界の第一線で活躍する講師を迎えて、中央公民館市民講座を開催。文化の秋に多才な講師陣による講演を聴いて、実りある時間を過ごしませんか。手話通訳と要約筆記もあります。会場は前橋プラザ元気21。対象は市内在住か通勤の中学生以上、450人(抽選)です。

日時 1 10月28日(土) 2 11月11日(土)  
3 12月2日(土)、午後1時30分～3時



富田 京一さん 石原 新菜さん 森永 卓郎さん

講師・テーマ 1 肉食爬虫類研究所代表・富田京一さん「恐竜を科学する」  
2 はイシハラクリニック副院長・石原新菜さん「医者いらずの食べ物手帖」  
3 は経済アナリスト・森永卓郎さん「日本の未来を明るくするヒント」

費用 11860円(3回分)

9月22日(金)までに往復ハガキで住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、〒371・0023本町二丁目12・1・前橋プラザ元気21内中央公民館「市民講座係」へ

## タウンページを協働で発行

図タウンページについては市政発信課 ☎027-898-6642  
防災タウンページについては危機管理室 ☎027-898-5935

本市とNTTタウンページは、「タウンページ群馬県前橋市版」と「防災タウンページ前橋市版」を協働で作成・発行。タウンページは市役所の各種手続きや窓口案内などの市政情報、市民生活に必要な情報を、防災タウンページは防災マップや緊急時に必要な防災情報をコンパクトにまとめて掲載しています。



## 気象警報が生まれ変わりました

図危機管理室 ☎027-898-5935

気象警報が改善され、気象庁ホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/maebashi/>)で確認できるようになりました。警報・注意報などが発表されたときは、いつ・どこで災害発生の危険度が高まると予想されているのかを確認し、早めの安全確保を心掛けてください。

改善点 = 1 命に危険を及ぼすような大雨などが予想されるとき、5日先までの警報などの発表の可能性を、高・中の2段階で提供  
2 警報・注意報の発表時に、最大24時間先までの危険度予想を色分けして表示  
3 これまで大雨・洪水警報などの発表基準に用いてきた雨量に代え、土壌雨量指数、表面雨量指数、流域雨量指数を使用  
4 大雨・洪水警報が発表されたときに、どこで危険度が高まっているのか地図上に色分け表示